

味真野小学校 校庭の桜の歴史

越前市味真野小学校

「若宮清水」
(=「御清水」・清水頭町)



○種類 エドヒガン

○樹齢 140年以上

○歴史

・明治38年(1905年)

日露戦争で中国の旅順を占領した記念として、^{せいが}清雅小学校(豪攝寺^{ごうしやうじ}〈真宗出雲路派本山〉の南側)の校庭に「若宮清水」(=「御清水」・清水頭町)の崖から移植される。この時、すでに直径は30cm以上であったとのこと。

・明治42年(1909年)

味真野小学校が開校する。(味真野地区の^{せいが}清雅・^{ごうし}合志・^{げっしん}月進・^{ちどう}致道の4小学校を統合し、清雅小学校校舎を本校にする。)この統合の新築記念として植樹されたとの言い伝えもある。

・昭和4年(1929年)

味真野小学校校舎が豪攝寺の南側から現在地へ移転・増築されたのに伴い、現在地に再度、移植(南校舎の横・校庭側)される。

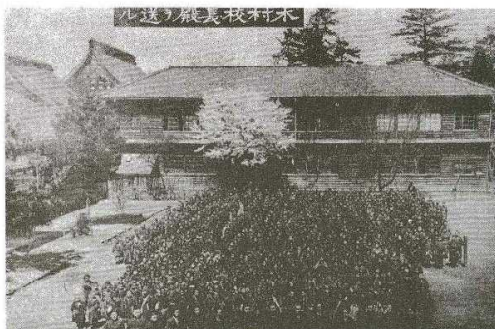
・昭和53年(1978年)

北校舎改装、新校舎竣工に伴い、11月に南校舎等を取り壊したため、校庭が広くなり、桜は校庭の中央に位置するようになる。(桜を移動させてはどうかという声もあったが、当時の第25代校長 飯塚又右エ門氏が、そのままの位置で残すことを決めた。)

11月1日に市指定文化財に指定される。

大正11年(1922年)の写真

こちらを向いて撮影している人達の後ろに写っている桜(写真中央)が明治38年(1905年)に移植された桜ではないのだろうか。



本山豪攝寺横にあった味真野小学校(大正11年)

昭和50年(1975年)の航空写真

桜の位置は南校舎のすぐ横(校庭の「味小」の文字と校舎の間)



小学校全景(昭和50年撮影)



'88FNSスーパーズペシャル
1億人の
テレビ夢列島

昭和六十三年七月十六日、88FNSスーパーズペシャル「一億人のテレビ夢列島」の番組に、当小学校自慢の桜の木にリボンの花を咲かせて、全国に放映しようと言う話が、数カ月前にテレビ局より学校にあった。学校側は、当地区の関係者及び愛育会の方々と、数回にわたり打ち合わせを行なった。当地区が全国に放映されると言う事で、地区あげての行事にしようと言う事に決まった。前日の七月十五日に、リボンの花の取り付け作業を行なった。クレーン車5台を使って桜の木のてっぺんより下まで、約5万個のリボンを取り付けた。高所恐怖症の人も、子供達も一生懸命頑張る、桜の木がリボンの花で満開になったのは、夕方暗くなってからだ。当日は、早朝より地区の方々が大勢集まり、小学校の校庭は、人・人・人で埋った。午前九時三十分

味真野小学校の桜の木が全国に放映



▲ 5万個のリボンの取り付け

し、約一時間に渡って芸を披露し、その一部分が、全国に放映された。テレビに映し出された桜の木を見て、集まった人々は、一斉に歓声を上げた。この後アトラクションとして、越前万歳・曲太鼓・婦人会の踊りなどが行なわれた。この全国放映により、当小学校を卒業され県外に在住されている方々が、この桜の木を見て懐かしがった事と思われる。

満開になった桜の木 ▶

